

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調査

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	06-04	所管部	農政部	作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 岩田 正敏
				担当係	畑地整備係（内）27-572

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道営土地改良事業費（水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型））				
------	--	--	--	--	--

ふりがな 地区名	とよたかだいに 豊高第2	市町村名	美幌町	総事業費	1,215 百万円
負担割合	国 55.0%	道 28.0%	市町村 -	その他 17.0%	
	668 百万円	340 百万円	- 百万円	207 百万円	

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●畑作物の生産振興及び畑作経営の改善を図る。 ●地域農業をささえる担い手農家の経営体質を改善し、安定した農業経営の確立を目指す。 ●担い手への農地集積を維持する。 ●事業実施により、安全・安心な食の生産をささえる。 				
	【アウトカム】等 ●事業実施前（H28年（2016年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は100.0%である。本事業を実施することにより事業完了後においても100.0%が維持される。				

事業概要	本地区は、ほ場の傾斜や褶曲、排水不良により、大型機械の作業効率や生産性の向上に支障を来しているため、区画整理や暗渠排水などの生産基盤整備を総合的に実施し、ほ場条件を均質化することで生産性の向上、農業経営の安定化を図る。	工事費内訳	受益面積 266ha→325ha	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			受益戸数 25戸→29戸	前回評価	今回評価	増減額
			区画整理（整地工、暗渠、客土、除礫）	565	844	279
			A=222ha→A=282ha			
			暗渠排水 A=25ha→A=26ha	27	23	△4
			客土 A=21ha	73	79	6
			測量設計費 調査・設計	184	237	53
			用地費及補償費 物件補償	31	32	1
			計	880	1,215	335

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】 （生産基盤の強化） スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。
	関連する指標	食料自給率（カロリーベース） 令和12年度（2030年度）目標値：268%

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H29(2017)	H29(2017)	H33(2021)			880	246			
	前回再評価										
	今回評価	H29(2017)	H29(2017)	R4(2022)			R6(2024)	5	1,215	340	128

変更理由・内容（概要）	（1）区画整理について、新たに取得した農地の整備や大雨被害を契機に整備が必要となったことによる事業量・事業費の増。（2）暗渠排水について、新たに取得した農地の整備による事業量の増及び精査による事業費の減。（3）自然増、消費税率改正による事業費の増。（4）積算基準の改正による事業費の増。（5）北海道横断自動車道の整備計画の確定に伴う本地区の整備計画を見直しによる事業工期の延長。
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	本地区は、これまでの生産基盤整備により一定条件は整っているものの、傾斜等の地形条件に起因する大型機械による営農作業に支障をきたしているほ場や、土壌条件に起因する排水不良等の被害を受けているほ場が点在するなど、ほ場条件に格差が生じている。地域の農業経営の安定化を図るため、美幌町から事業採択に向けた要望が出されていた。
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● H25年(2013年) 7月 美幌町からオホーツク総合振興局に調査計画を要望 ● H28年(2016年) 4月 オホーツク総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査開始 ● H28年(2016年) 11月 農林水産省へ事業申請 ● H29年(2017年) 4月 事業採択
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 美幌町 受益面積 266ha→325ha、受益戸数25戸→29戸 基盤整備を行うことにより生産性や機械作業効率の向上が期待される。

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画											
	施工(工種)区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況	事業費(百万円)
	区画整理	A=282ha	←		A=222ha				A=60ha		82%	844
	暗渠排水	A=26ha		←	A=13ha				A=13ha		78%	23
	客土	A=21ha			A=21ha				附帯工		83%	79
	測量設計費	調査・設計	←						実施設計等		36%	237
	用地費及補償費	物件補償		←				物件補償等		15%	32	
	(2) 進捗状況											
	北海道自動車横断道路の整備計画確定により事業工期は延伸しているが、区画整理、暗渠排水、客土は予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。											
	b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。										
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)			費用の内訳(百万円)				備考				
	項目	R4現在	項目	R4現在	●「土地改進黨業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省H30改正)に基づき算出 ●経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR4年度に現在価値化している。 ●費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 ●暗渠排水の前歴事業にかかる費用を「関連施設」として計上している。							
	作物生産効果	492	区画整理	1,217								
	営農経費節減効果	1,147	暗渠排水	43								
	国産農産物安定供給効果	86	客土	114								
			関連施設	4								
	合計(B)	1,725	合計(C)	1,378								
	B/C	前回算定年度 : 平成28年(2016年度)【事業採択時】 前回算定時B/C : 1.50 変更理由 :										
	R4現在	●事業費の増額に伴う費用の増加 ●算定年度変更による諸係数、単価の入れ替えに伴う精査 ●営農経費節減効果の単価・機械経費に係る単価の入れ替えに伴う便益の増										
	1.25											
3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容								縮減額(百万円)		
	計画・設計の最適化	既存暗渠の機能診断を実施し、現場条件に応じて補助暗渠工法を実施								3		
V 評価												
1. 必要性	●土壌・地形条件に起因するほ場の排水不良や大型機械による農作業効率の改善など、地域農業の課題に対応するため、区画整理や暗渠排水等の生産基盤整備を実施し、ほ場条件の均一化による生産性の向上、農業経営の安定化を図る。 ●事業の必要性に変化は無く、着実に事業の推進を図る必要がある。											
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。										
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題											
	●土砂流出による河川汚濁を防止するため、降雨時の施工は避け、必要に応じてシートによる保護などの対策を行う。 ●周辺環境に配慮し、機械施工を行う場合は、排出ガス対策型の騒音・振動の発生を極力抑える重機を使用する。											
	(2) 事業推進に対する住民の動向											
●美幌町土地改良連合期成会から事業の早期完了に向けて毎年度要望が出されている。												
(3) その他の課題												
●特になし												
3. 事業達成の見込み	採択時点から事業期間を3年延伸しているが、事業の必要性に変化がないほか、事業を推進する上での課題等もなく、採択時点から大幅に事業が進捗していることから、予定年度の事業達成が見込まれる。											
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。										
4. 対処方針	現時点で想定可能な見直しは全て行っており、今後は順調な進捗が見込まれ、残りの事業期間内での事業達成が十分に可能なほか、B/Cは1.25となっていることから、令和6年(2024)年度の完成を目指し事業を継続する。											
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止										
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有						

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 ・事前評価：該当なし ・再評価：該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

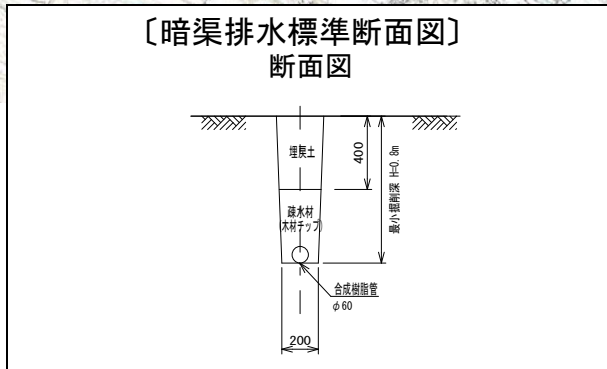
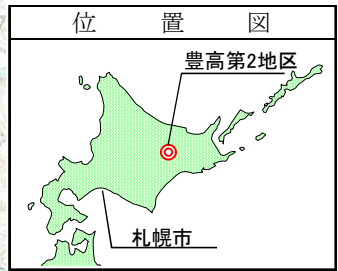
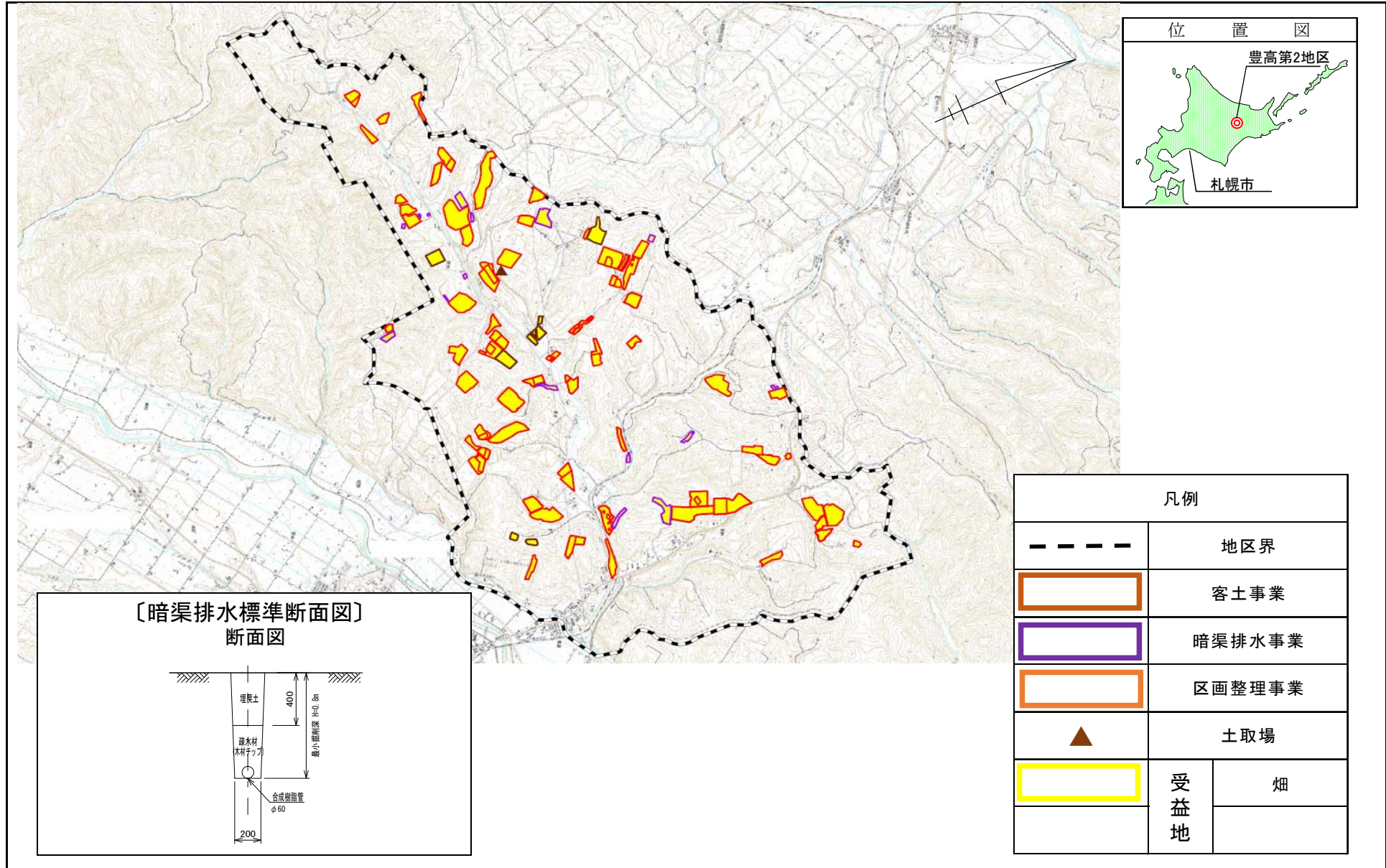
VII 事業計画変更

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H29 (2017)	H29 (2017)			H33 (2021)	5	880			
変更①		H29 (2017)	H29 (2017)		R2 (2020)	R6 (2024)		1,106			
変更②	1回目			R4 (2022)		R6 (2024)		1,215	128	865	71%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	<p>変更①（第1回計画変更）：総事業費・事業内容・事業期間の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理、暗渠排水について、追加要望として、離農や経営規模縮小に伴う農地の新たな担い手による取得及び大雨被害を契機とした整備要望の取り込みによる事業量・事業費の増。 自然増及び消費税率（8%→10%）の改正による事業費の増。 暗渠排水について、精査による事業費の減。 北海道横断自動車道の整備計画の確定に伴い、本地区の整備計画を見直したことによる事業工期の延長。 <p>変更②（R4.8.1時点）：総事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然増による事業費の増。 区画整理について、積算基準の改正による事業費の増。 										

事業概要図

事業名	水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型）	地区名	豊高第2地区
-----	-----------------------------	-----	--------

事業地区位置図



凡例	
-----	地区界
	客土事業
	暗渠排水事業
	区画整理事業
	土取場
	受益地
	畑